

自己を育み、躍進する力を養う6年間

3つの柱「人間教育」、「D&I(多様性の受容)」、「自己実現」を中心に、国際社会の一員としての自覚と決意を持ち、利他の精神を発揮できる人物、その礎を築き自己実現していくのが本校の中高6年間です。



日常に根差した学び

創業者・中村ハル先生の想いを受け継ぎ、食や清掃など日常の習慣からも教育をおこなっております。

校門での停止礼



中村学園ではあいさつを大切にしています。学校生活も校門での「停止礼」から始まり、何事にも真心を尽くして生活することや周囲の人々への感謝の念を育みます。

一汁三菜のスクールランチ

数多くの管理栄養士を輩出した中村学園監修のもと、生徒たちの食を通じた健康づくり、体づくりをサポートします。中学のランチには、日本の食膳形式を取り入れた一汁三菜のスクールランチを提供。発育期の生徒に必要な栄養をバランスよく摂取でき、丈夫な体を作ります。



縦割り清掃



中1～高3までが一緒に清掃することで、年齢差を受容する心を育てます。異なる学年の生徒たちが協力して清掃活動を行うことで、社会性を養い、コミュニケーション力を育むことができます。



1日の過ごし方	～8:30	登校
	8:30～8:40	朝読書
	8:40～8:50	ホームルーム
	9:00～9:45	第1限
	9:55～10:40	第2限
	10:50～11:35	第3限
	11:45～12:15	第4限
	12:15～13:15	昼休み
	13:15～14:00	第5限
	14:10～14:55	第6限
	15:05～15:50	第7限
	15:50～16:00	ホームルーム
	16:00～16:15	清掃

※令和7年度実績

教科からのメッセージ



国語 思索的で論理的な授業

文法など基本的な知識から論理的な読解・思考力まで身につけます。他者に対して自分の考えを自分の言葉で伝える表現力を育む授業も充実しています。3年次から古典文法を学び、大学入試に備えます。

数学 論理的に考え、表現する力を養う

数学は、算数と比べて問題を解く過程とその論理性が重要。「なぜ」を大切に、事象を正確にとらえ、論理的思考力を養うことが必要です。そのため考える楽しさを体験できる授業を心がけています。

英語 「Cambridge English」プログラム導入で世界に通じる英語を学ぶ

ケンブリッジイングリッシュを実践し、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく伸ばします。授業の大半が英語で行われるため、英語で考え、答える力が自然と身につきます。年に1回ケンブリッジ英検を受検し、力を測ります。

理科 豊富な実験からひらめく力を学ぶ

自分で考え、ひらめく力を育てるためには実験が欠かせません。そのため、身の回りの科学的現象に興味を持てるよう、3年間で100回を超える実験や観察を取り入れています。また高校の内容を取り入れながら授業を実施しています。

社会 生徒の「なぜ」を大切に

1年次は地理、2年次は歴史、3年次は公民を学びます。「問い→仮説→検証」型の授業構成にし、ただ知識を暗記するのではなく、資料を読み、問いに向き合うことで理解を深めることを目指します。

保健体育 心を大きく成長させる

運動の楽しさや健康の大切さを実感できる授業を行っています。運動を通して競争や協働を経験することで、人と協力したり、一人ひとりの違いを認められるようになったりと、心も大きく成長します。

音楽 様々な音楽活動を通して、豊かな情操を養う

歌唱、演奏、鑑賞と幅広く学びます。生涯にわたり音楽を愛する心を育てるとともに、感性を高め、音楽の諸能力を伸ばし、豊かな感情を養います。後期にはクラス対抗の合唱コンクールを行います。

美術 美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造する態度を養う

表現領域では、絵画、彫刻、デザイン、工芸などの作品を制作します。鑑賞領域では、作品の持つ意味や技術的側面を学び、理解することで美術文化そのものへの理解を深め、豊かな情操を育みます。

技術家庭 実生活や実社会で役立つ、一生モノのスキルを身につける

技術では材料加工、ラジオ製作などのモノづくり、PCを使ったプログラミングなど幅広く学びます。家庭科では座学に加え、和洋中のパリエーション豊かな調理実習を多く取り入れています。